

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	1-4	政策名	観光の振興	政策の 目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています	施策 主管課	観光課	施策主管 課長名	高橋 徹
	施策No.	2	施策名	観光情報の発信	施策の 目指す姿	観光資源が国内外で有名になっています	関係課名			
	現状と課題 ・各種メディアへの宣伝広告やホームページでの情報発信など従来の手法に加え、新たな情報発信が求められています。 ・訪日外国人観光客が増加するなか、東北地方への入り込みが少ない状況です。									

◎ 前年度の評価の振り返り

（前年度評価時の今後の方向性）

- ・SNSの積極的な活用など、より効果的な情報発信となるよう努めるとともに、宿泊閑散期に合わせた宿泊客の増加につながる事業に取り組む。
- ・人口減少に起因して国内観光客の大幅な伸びが期待できない中、外国人観光客については着実に増加しており、今後においても地元経済への貢献が期待されることから、さらなる入込となるよう多言語表記など、引き続き受入態勢整備に努める。

（反映状況）

- ・花巻観光協会が行うSNSの活用による効果的な情報発信、及び宿泊閑散期に合わせたイベント実施・旅行商品化に対して支援した。
- ・外国人観光客の受入態勢整備として、観光案内所への多言語デジタルサイネージの設置、滞在プログラム開発への支援、観光施設等トイレの洋式化、外国人受入れに係るセミナーの開催、多言語パンフレットの作成を行った。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)効果的な観光情報の発信

- 新しいメディアに対応した情報提供
 - ・市及び観光協会ホームページ及びFacebook等を活用した観光情報発信
- 広告掲載やパンフレットなどによる宣伝
 - ・旅行雑誌や旅行サイトでの情報発信、観光パンフレットの作成
- 国内外での観光キャンペーンの展開
 - ・国内外での誘客及び観光物産に係るキャンペーンの実施・参加、新花巻駅内の観光PRスペースの改修
- お土産品や特産品のプロモーション
 - ・各種イベントや催事での特産品等のPR
- 映像作品ロケ誘致に向けたプロモーション
 - ・市ホームページでのロケーション紹介のほか、ジャパンフィルムコミッションを通じた情報発信
- 多言語パンフレットやSNSなどによる海外への情報発信
 - ・多言語パンフレットの作成、SNSの多言語対応

(2)外国人観光客の誘致促進

- 現地旅行会社やマスコミ等へのプロモーション
 - ・国内外で開催される旅行商談会参加、現地でのセールス活動
- 多言語表示や免税店の拡充など受入態勢整備や滞在プログラムの開発
 - ・観光案内所への多言語デジタルサイネージの設置、観光施設等トイレの様式化、外国人受入れに係るセミナーの開催、滞在プログラム開発への支援
- 多言語パンフレットの作成
 - ・広域周遊観光を促す多言語パンフレットの作製
- 岩手県が行う国際定期便およびチャーター便等の誘致促進事業への協力
 - ・台湾、香港等に向けた誘致活動への協力

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
花巻観光協会ホームページのアクセス件数	観光客が花巻に関心を持った回数を示す指標	花巻観光協会ホームページに導入されているアクセスカウントより算出	万件	目標値	29.1	29.8	30.5	49.9	50.0	50.2
				実績値	42.3	49.5	52.2	35.2	43.9	
訪日外国人観光客入込数 (暦年)	国内をはじめ、国外への情報発信の効果測定の観点から、花巻市への観光客入込数のうち、外国人観光客数を指標設定	国が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく調査	万人	目標値	-	-	2.9	3.7	4.4	5.2
				実績値	1.5	2.0	2.3	4.6	5.0	

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	■成果指標「花巻観光協会ホームページのアクセス件数」・・・【達成度c】 目標値に対し87.8%と低調であったが、URLを変更したために発生した問題を改善した結果、前年比24.7%の増加となった。 ■成果指標「訪日外国人観光客入込数」・・・【達成度a】 花巻空港への国際定期便の就航、花巻・遠野・平泉の連携による誘致活動の成果により、目標値に対し113.6%となった。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結	
1	観光情報発信事業 花巻観光協会への運営支援・観光パンフレット等の作製委託、閑散期の宿泊施設利用促進への支援、イーハトーブ大使による観光宣伝、新花巻駅構内観光PRスペースの改修、映像作品ロケ誘致(観光キャンペーン実施・参加 9回)	観光課	間接・少数	直結	C
			B		
2	外国人観光客誘致促進事業 花巻観光協会及び花巻・遠野・平泉観光推進協議会が取り組むインバウンド事業への支援、旅行商談会への参加、受入環境整備、インバウンドセミナーの開催など(国内外で開催される旅行商談会等への参加 9回)	観光課	一致	直結	A
			A		

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
・なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

- ・観光協会ホームページのアクセス件数増加のため、情報更新頻度の向上・各種SNSからの誘導を図る必要がある。
- ・特に宿泊閑散期となる冬季における底上げを図り、通年宿泊客数の平準化を図る必要がある。
- ・増加が期待できる外国人個人観光客に対して、更に効果的な情報発信を図る必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

- ・なし

6 施策の総合的な評価

(課題)
・豊富な観光資源を有しているが、効果的な情報発信となっていない。また、地元経済への影響が大きい宿泊客数について、季節ごとに増減の差を解消する必要がある。
・増加が期待できる外国人個人観光客に満足してもらうため、滞在プログラムの多様化・多言語対応・キャッシュレス決済など、更なる受入態勢整備を進める必要がある。
・重要な市場である台湾、香港では、長年のセールス活動の成果により現地旅行会社では「花巻」の認知度は高いが、増加が期待できる個人客に対して効果的な情報発信を図る必要がある。

(今後の方向性)

- ・SNSやデジタルサイネージ等を活用した魅力的な情報発信に努めるとともに、宿泊閑散期に合わせた宿泊客の増加につながる事業に取り組む。
- ・外国人観光客については着実に増加しており今後のにおいても地元経済への貢献が期待されることから、外国人個人観光客の更なる入込みを図るため、引き続き受入態勢整備に努めるとともに、SNSの多言語対応を図る。